



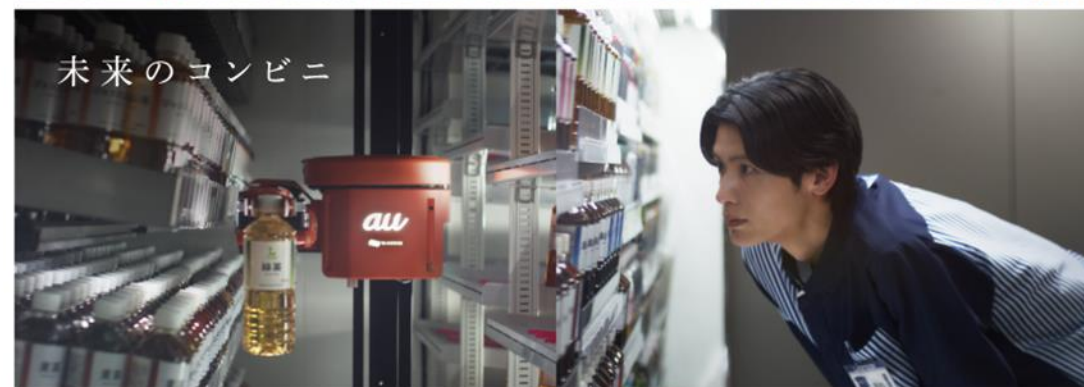
2026年3月期 1Q決算

(2025年4月-6月)

2025年8月1日
KDDI株式会社

「つなぐチカラ」を進化させ、
誰もが思いを実現できる社会をつくる。

 KDDI VISION 2030



26.3期1Q 連結業績

連結業績ハイライト

1Qは増収・減益となるも、期初想定通りの進捗

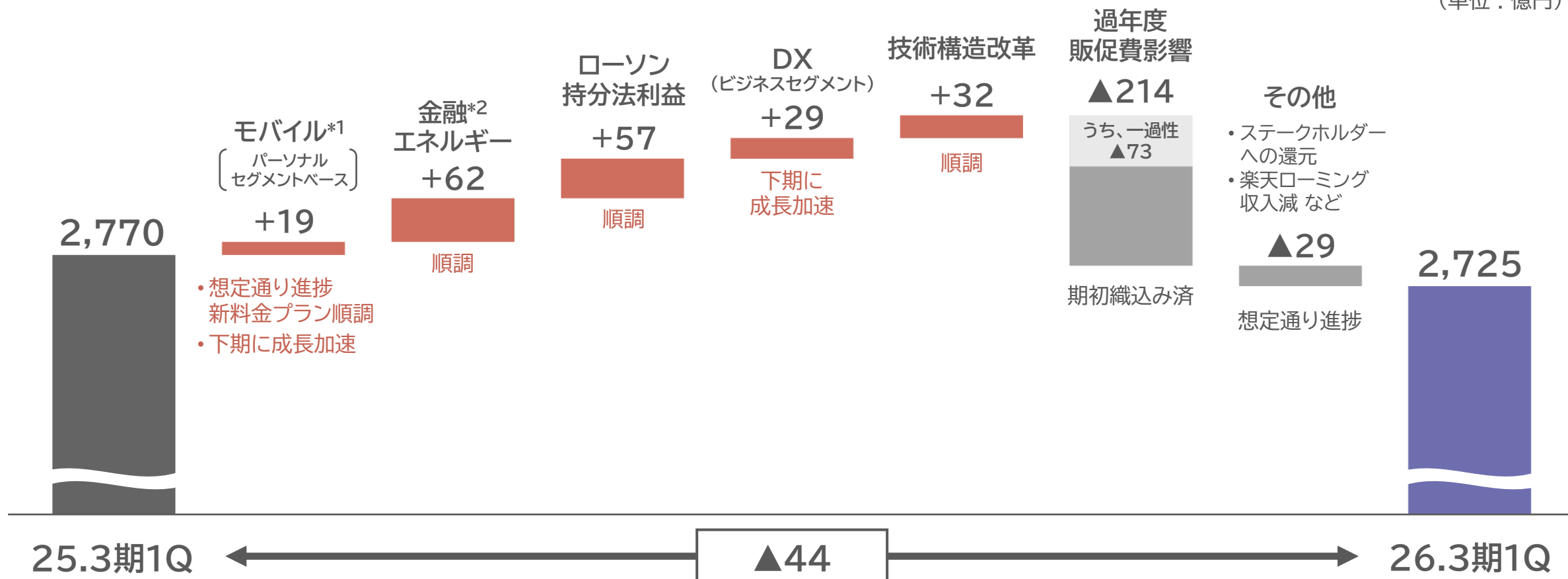
	25.3期 1Q	26.3期 1Q	増減率	26.3期 通期予想
売上高	13,891億円	14,363億円	+3.4%	63,300億円
営業利益	2,770億円	2,725億円	▲1.6%	11,780億円
当期利益*	1,769億円	1,711億円	▲3.3%	7,480億円

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

連結営業利益 増減要因

一過性影響で減益となるも、主要事業が成長。期初想定に対し着実に進捗

(単位：億円)



*1 管理上の利益ベースの数字 *2 auフィナンシャルホールディングス(IFRSベース)

つなぐチカラの進化

デジタルデータ×AIを推進する基盤となる「つなぐチカラ」の成長に注力

【次の成長に向けたこだわり】

デジタルデータ×AIによる
新たな価値創出



つなぐチカラの進化

土台となる通信ネットワークを
KDDIの強固な競争基盤に

「つながる体感」価値などの提供とともに
toC・toBの通信事業基盤を拡大



KPIをパーソナル+ビジネスセグメントに変更
モバイル収入(通信+付加価値)成長に注力

Core

モバイル収入の成長

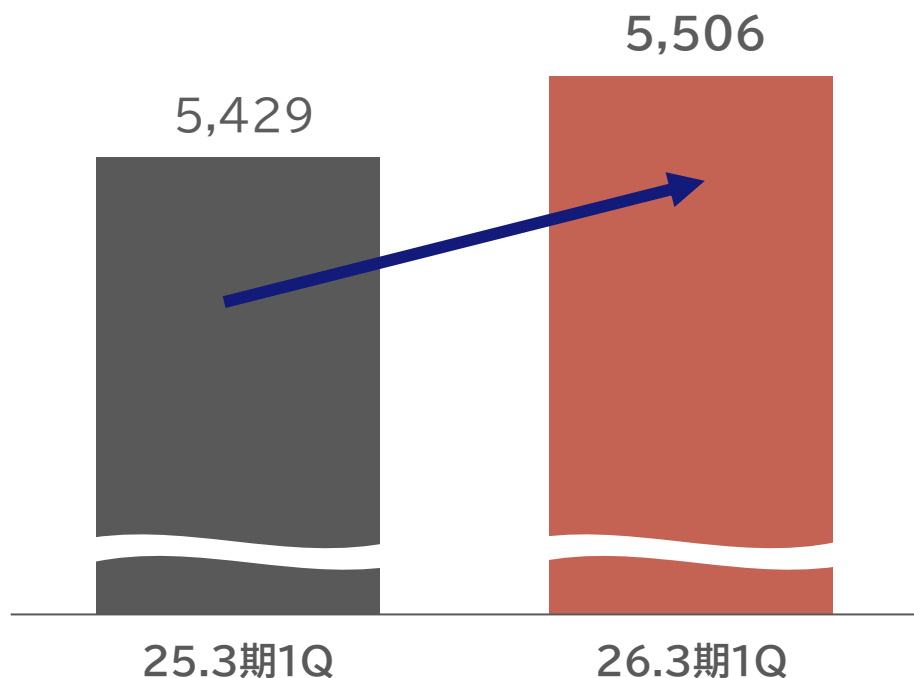
つなぐチカラの進化にこだわり、さらなる成長を目指す

モバイル収入*

(パーソナルセグメント+ビジネスセグメント)

(単位：億円)

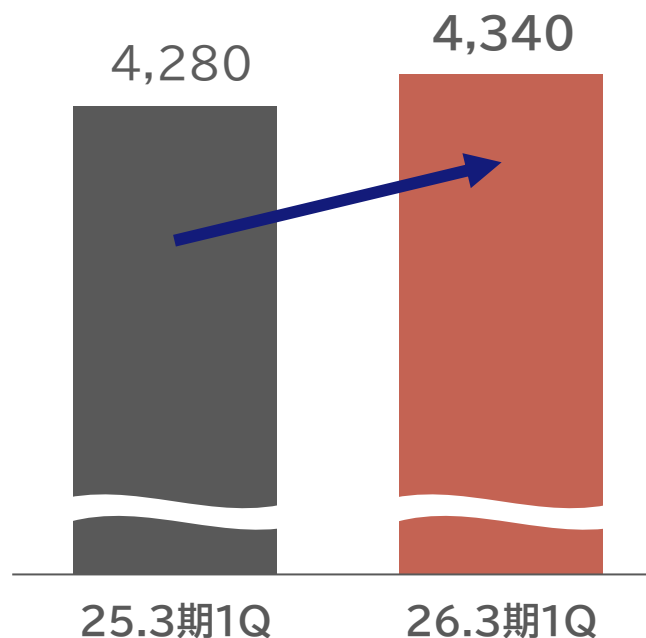
YOY+76億円



モバイルARPU

(単位：円)

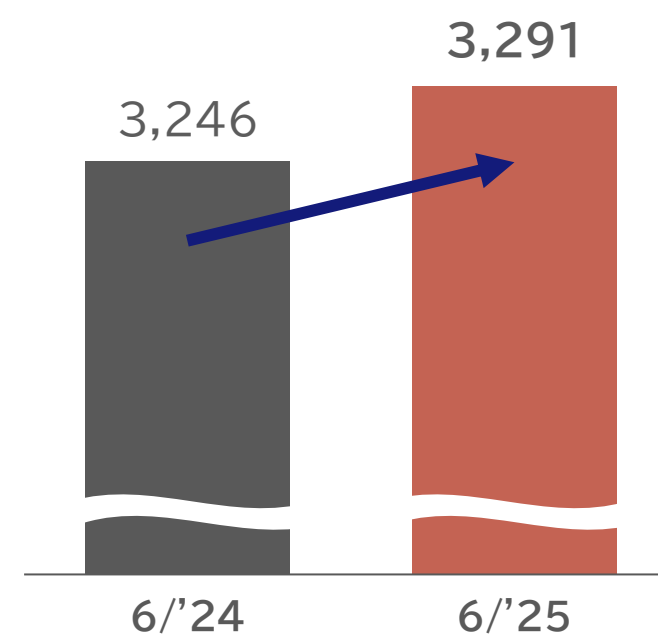
YOY+60円



スマートフォン稼働数

(単位：万契約)

YOY+45万



注) パーソナルセグメント・ビジネスセグメント合算値 * 通信料収入(データ関連、基本料・音声関連、各種割引額)、端末補償サービス収入等、コンテンツ収入等の合算値。金融・エネルギー収入は含まず

モバイル収入

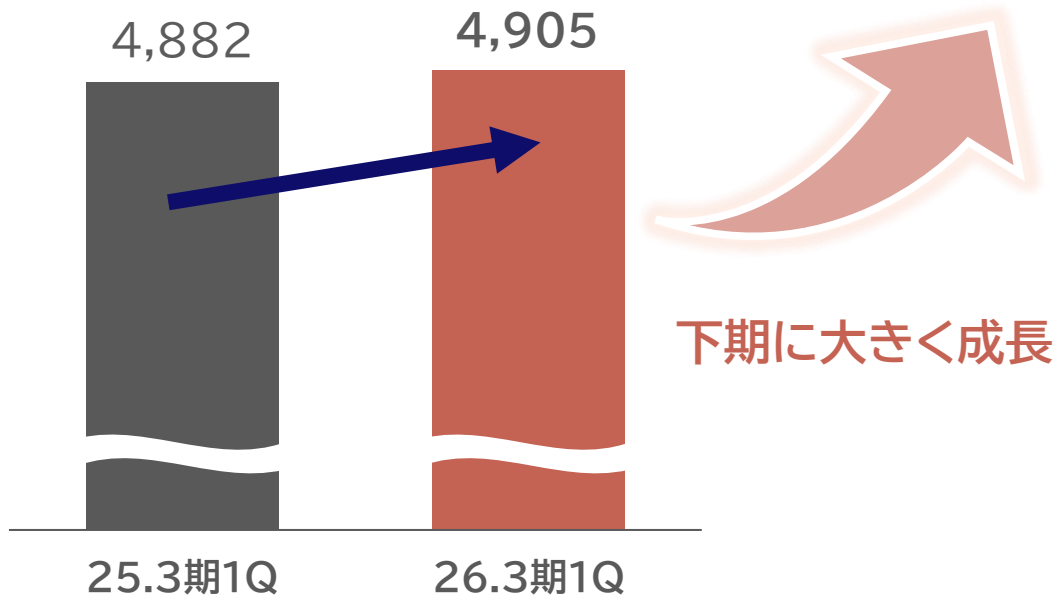
(パーソナルセグメントベース)

通信＋付加価値の取組みを推進し、着実に成長

モバイル収入*

(単位：億円)

YOY+23億円



26.3期1Qのポイント

- モバイルARPU、スマートフォン稼働数が順調に伸長
- 新プラン好発進、「つながる体感」価値が好評
- ブランド間移行、解約率ともにトレンド改善
- 経済好循環の達成を目指す

好発進の新プラン

「つながる体感」価値やデータ需要により、安心の大容量プランが好評



新たな「つながる体感」価値が好評
「au 5G Fast Lane」・「au Starlink Direct」・「au海外放題」

「つながる体感」価値＋データ使い放題*1プラン

選択率(新規契約・機種変更) **約8割***2

新プラン

auバリューリンクプラン

使い放題MAX+

「つながる体感」価値



データ利用量増加で
大容量プランが好評

大容量プラン

選択率(新規契約・機種変更) **約4割***2

新プラン

コミコミプランバリュー

35GB/月

新プラン

トクトクプラン2

30GB/月

(5GB以下で自動割引)

*1 200GB/月超の場合通常利用に影響のない範囲(最大5Mbps)で制限。テザリング上限あり。混雑時など通信速度制限の場合あり

*2 2025年6月3日から6月30日の実績。auはauマネ活プラン+、auマネ活バリューリンクプラン含む

5Gネットワーク

5G SAでも複数のNo.1評価獲得。ネットワークの強みで競争力を強化

5G SAの本格展開

5G SA
エリアNo.1

国内最多*1 Sub6基地局 **4.1万局**
Sub6基地局全域で5G SA提供

国内5G SA
評価No.1

Opensignal社の通信体感分析

全6部門で**1位** 獲得*2 

- ・ダウンロードスピード
- ・アップロードスピード
- ・ゲームエクスペリエンス
- ・ビデオエクスペリエンス
- ・UDP*3レイテンシ
- ・信頼性

2周波数対応
Sub6基地局運用

2周波数の同時展開により
設置効率 **2倍**
通信速度 最大**2倍***4



au 5G Fast Lane

混雑時の快適な通信が好評
ネットワークの強みを競争優位性に

【お客さまの声】

- 渋谷駅近辺でも問題なく動画を見られるのは良い
- 東京ドームのイベントで大混雑の中ストレスなく繋がった



2025年7月のサービス開始後
通常と比べた通信速度

山手線 約**1.9倍***5

*1 国内MNO4キャリア比較。2025年7月25日時点で総務省無線局等情報検索で閲覧できる免許数 *2 Opensignal社 - レポート「5G スタンドアロンは、日本で期待に込めているのでしょうか？」(国内主要MNO2社 5G SAサービス比較。2025年7月31日発表)における評価結果。2025年4月1日～6月29日の期間に記録されたモバイル測定値の独自分析に基づく ©Opensignal Limited. *3 User Datagram Protocol *4 5G SAサービス利用時、1つの周波数のみに対応した従来の無線装置と比較 *5 2025年7月3日の18時～19時に山手線外回り1周で評価アプリによるDLスループット測定を行い、全サンプルの平均値を算出。お客さまのご利用環境により異なる場合があります

Starlink Direct / 海外放題

圏外エリア・海外でつながり、お客さまの生活や安心を支える

au Starlink Direct

海・山でも通信できる安心が好評
安心を支える機能もさらに拡充

2025年7月 SMS送受信時間が4倍早く*1
メッセージで写真・動画の送受信可能に*2
2025年夏 データ通信開始予定

【お客さまの声】

- 山や海に釣りに行くから嬉しい
- 電波が届かない山奥のキャンプ場。
つながって安心

対応機種

66機種

900万台以上
に拡大*3

提供開始から**100万**人がご利用*4

au 海外放題

料金メリット・利便性・通信品質などが好評
他キャリアやレンタルWi-Fiユーザーにも価値提案

【お客さまの声】

- 新しい料金プランは月15日無料が
セットで海外エンジョイできる
- 海外旅行に向け、レンタルWi-Fiや
eSIMは面倒なので助かる
- 海外でも通信スムーズでストレス無し



利用者の**約6割**が通信セットプランご加入*5

*1 従来の2分以内から30秒以内に短縮。2025年1月時点と比較した90パーセンタイル値。お客さまのご利用環境により異なる場合あり *2 Android端末(一部機種除く)でのGoogleメッセージが対象 *3 2025年8月1日時点

*4 2025年4月10日～7月10日の接続者数(ユニークユーザー) *5 2025年6月の実績

マルチブランド再設計

サービス改定が期待通りに奏功、両ブランドともトレンドが良化

ブランド間移行

au魅力化によりトレンド改善
26.3期のブランド間移行フラット化が視野に

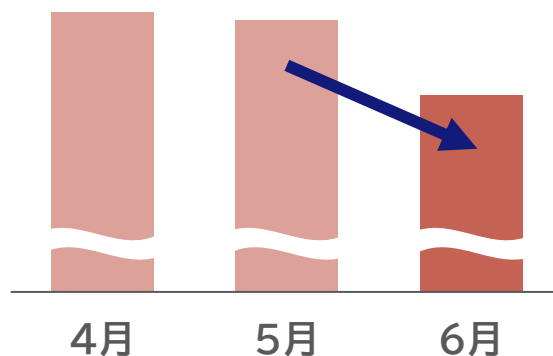
UQ mobile→au

増加傾向継続。au魅力化
訴求でさらなる増加へ



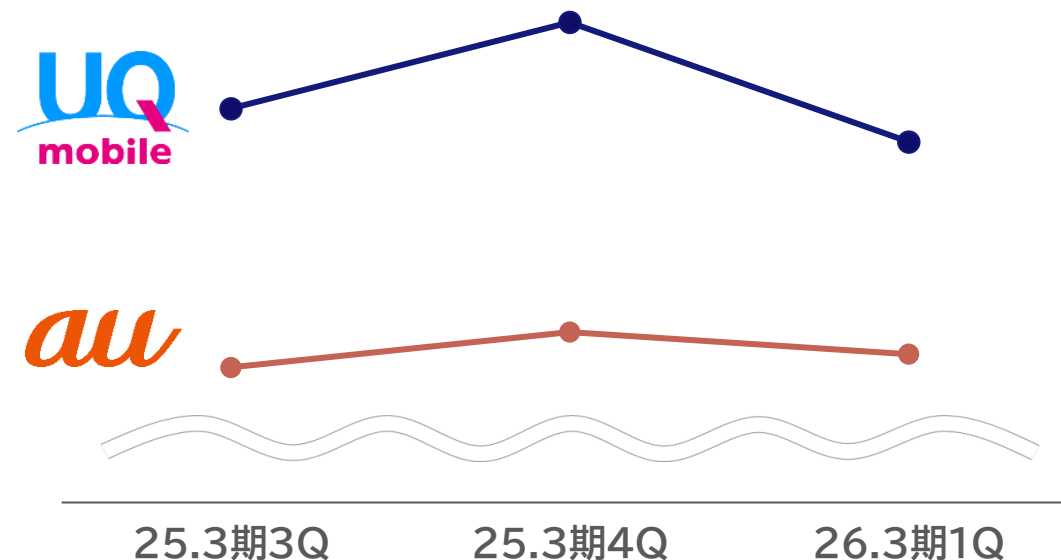
au→UQ mobile

ブランド再設計により
6月大きく低減



解約率

auは低水準を維持、UQ mobileは足元で改善
LTV*をより意識した構造に変革



Pontaパス

KDDI・ローソンの成長に貢献。通期純増+100万会員*1を目指す

KDDI成長への貢献

新プランでのセット加入により
au/UQ mobileの解約率低減*2

ローソン成長への貢献

ローソン店舗への送客が **2倍***3
日販拡大に貢献

会員数拡大に向けて

2025年6月より、Pontaパス魅力化にむけた取組みを推進

ローソン店頭での入会



新規入会の **約8割** が
au IDをお持ちでないお客さま*4

通信とのセットプラン



おトクに使えるプランを提供



©Ponta

金融サービス

通信×金融の提供価値拡大に向け、パートナーとともに金融機能を強化

通信×金融の価値創出

- 2008年：じぶん銀行(現auじぶん銀行)開業
- 2019年：auフィナンシャルグループ体制発足
- 2023年：auマネ活プランスタート



他社に先駆けてシナジー創出モデルを構築

銀証連携強化

2025年秋にSBI証券との協業を開始予定

auまとめて金利優遇サービスの連携先拡大

NEW !
au じぶん銀行 × **SBI証券**
auまとめて金利優遇

リアルタイム口座振替設定により
auじぶん銀行の預金金利を年+0.10%優遇

パートナーリングにより銀行預金を増強
 今後も証券各社との連携拡大を推進

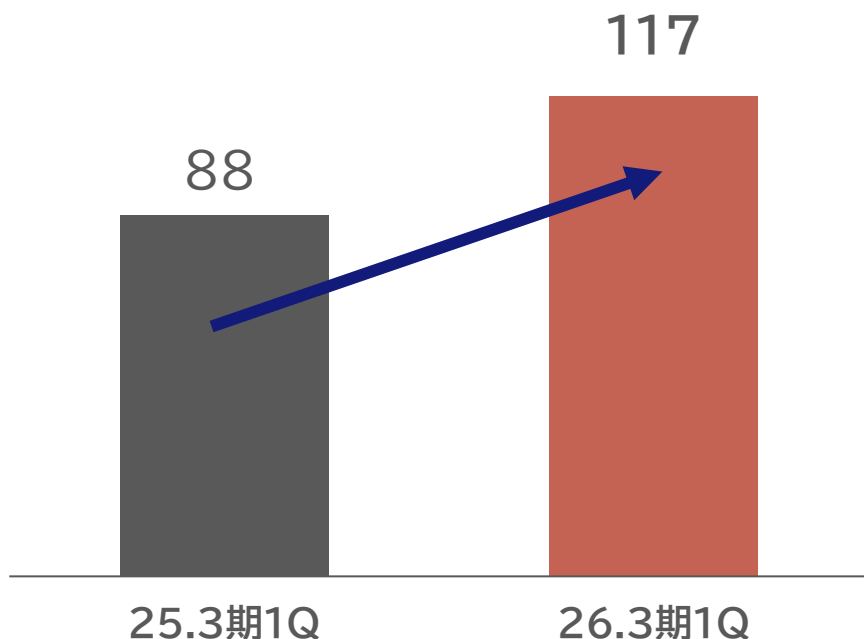
金融事業

通信とのセットプランをフックに業績・お客さま基盤ともに拡大

営業利益 (auフィナンシャルホールディングス)

(単位：億円)

YOY+33.0%



auマネ活バリューリンクプラン

累計契約者数 160万人突破*

— auフィナンシャルホールディングス —

26.3期1Q 決済・金融取扱高
5兆7,900億円 (YOY+13.6%)

au PAY カード会員
1,032万会員
(YOY+7.0%)

うち、ゴールド会員
161万会員
(YOY+28.9%)

住宅ローン残高
4.6兆円
(YOY+35.5%)

セットプランも奏功、au PAY ゴールドカード会員が増加

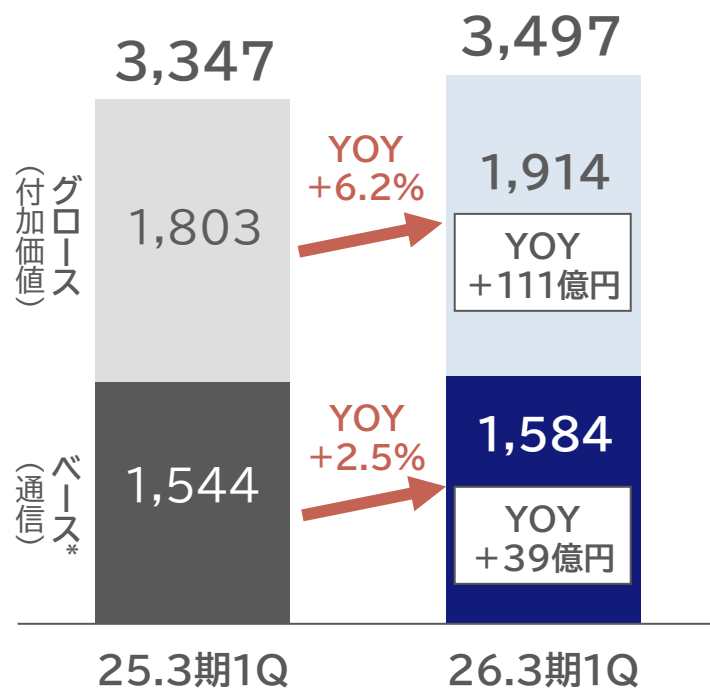
ビジネスセグメント業績

下期に向け、注力領域の取組みを強化、成長トレンドを加速

売上高

(単位：億円)

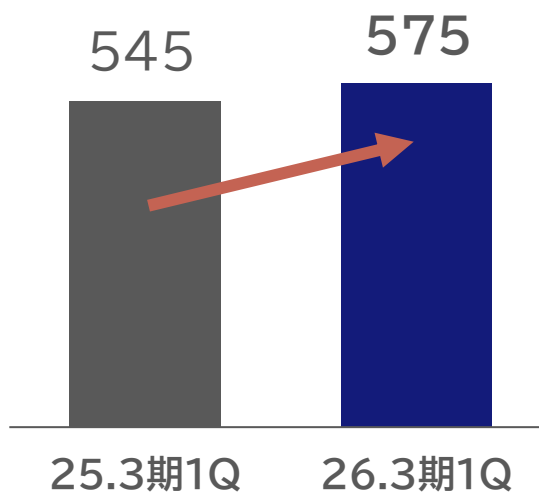
YOY+4.5%



営業利益

(単位：億円)

YOY+5.4%



業績のポイント

- ・ ベース
モバイル収入が成長。ID・ARPUともに順調
- ・ グロス領域
アルティウスリンクでの統合進捗遅れ
デジタルBPO案件進捗下振れ

期末に向けセキュリティ・IoTなどの
注力領域の成長拡大と、
BPOの業績底打ち・成長加速を目指す

グロース領域

様々な業界で需要の高いセキュリティとIoTに注力、成長を目指す

セキュリティ

ネットワークとのシナジーを発揮、デジタル化を支援

WAKONX

LAC

×

Tomorrow, Together
KDDI

セキュリティの知見

ネットワーク運用の知見
グローバル実績

JSOC
JAPAN
SECURITY
OPERATION
CENTER

国内最大級セキュリティ監視センター

導入状況: 600社・団体*1

2025年受注事例

官公庁

全職員3万人のインターネット
セキュリティ環境構築・監視

金融機関

ネットワーク・PCのセキュリティー
一元監視とインシデント対策

2025年7月～
グローバル対応も
本格展開開始

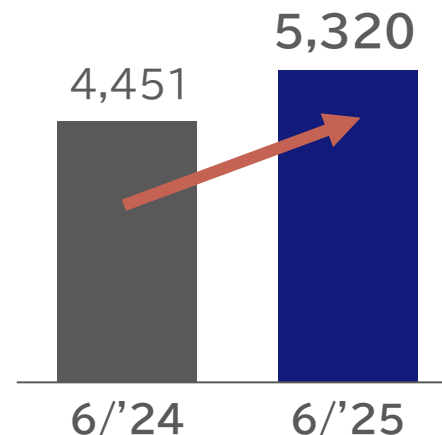
IoT関連サービス

AI時代の基盤となる回線数が順調に拡大

累計回線数*2

(単位: 万回線)

YOY+19.5%



SORACOM

800万回線突破*3

IoTとAIを融合した
プラットフォーム構築

ConnectIN

対応PC

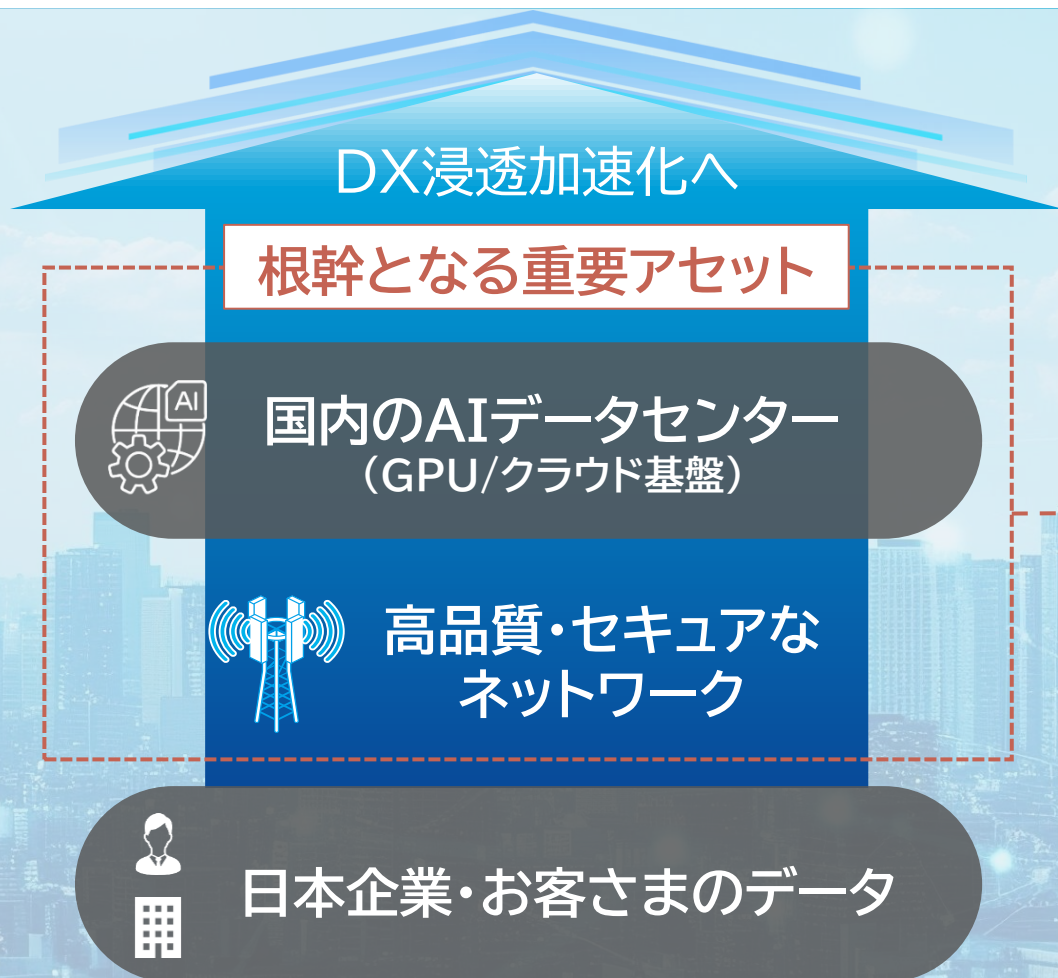
30機種*4 突破

複数自治体の
GIGAスクールで採用

次の成長に向けた取組み

デジタルデータ × AI

日本企業・お客さまのDX浸透加速化に向け、根幹となるインフラを整備



AI時代のインフラ

- 膨大なデータのトラフィックを支えるネットワーク
- 安全かつシームレスにデータを保管・活用するDC



次世代ネットワーク

膨大なトラフィックを支えるネットワーク構築と安定運用の取組みを推進

ネットワーク for AI

パートナーとともに
高い投資効率・柔軟なネットワークを構築



仮想化ネットワーク高度化



5G仮想化ネットワークに
AMD EPYC CPU採用



ネットワークオープン化



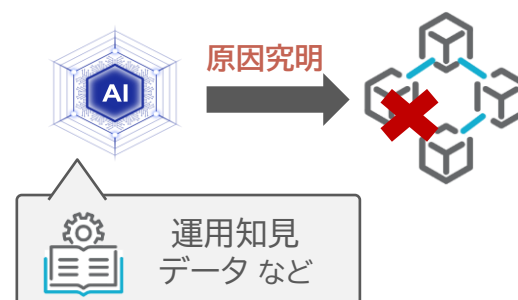
主要4拠点のOS用サーバーに
DriveNets製ソフトウェア導入

AI for ネットワーク

AIを活用した効率化・品質向上を推進

障害復旧

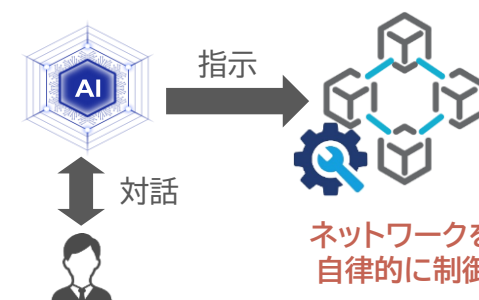
様々なデータで原因特定
復旧手段を提案



障害特定機能の開発着手

対話による運用

自然言語で自動制御



商用ユースケースの実証に成功

26.3期から、段階的に商用実装を予定

AIデータセンター

日本企業・お客さまが安心して活用できるAI環境を整備

国内GPU基盤の構築

データが集まる大都市にGPU基盤を構築



大阪堺AIデータセンター

先進的な冷却技術を活用
高性能なGPU基盤導入



Hewlett Packard
Enterprise



TELEHOUSE TOKYO
Tama 5-2nd

新規開業
2027年秋予定

ー ソブリンククラウド・AI ー

Google Cloud

「KDDI暗号鍵管理サービス for Google Cloud」

機密情報を国内で安全に管理。データ主権を担保



iret

2025年7月提供開始

運用・技術主権を担保する取組みを順次展開



大阪堺AIデータセンターの
GPU基盤でGemini提供を予定

AIサービス化に向けて

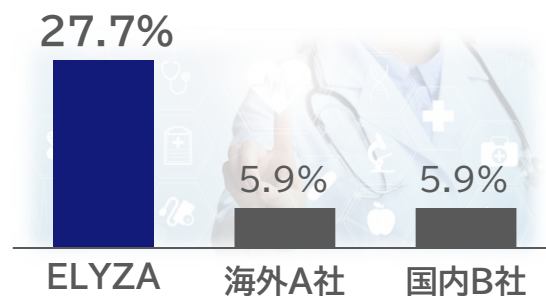
領域特化LLMおよび推論モデル、AIエージェントの取組みを推進

領域特化LLM・推論モデル

グローバル水準を超える医療特化LLM*1、
o1-miniに匹敵する推論モデルをELYZAが開発

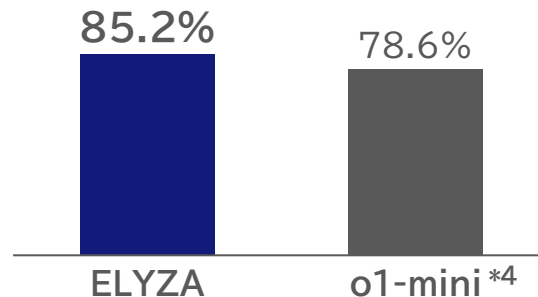
医療特化LLM

- レセプト修正要否判定の精度*2 -



推論モデル

- 数学系ベンチマーク*3スコア-



ELYZA

AIエージェント

デジタルヒューマンによる対応ノウハウを蓄積

リモート接客

エージェント:カエデ



最適なテナント案内
手続きの自動化

カスタマーサポート

エージェント:ナギサ



auサービスの
問い合わせに対応

AIサービス普及に向け、日本企業・お客さまのデータを扱うソリューションを準備

*1 本研究は、「戦略的イノベーション創造プログラム (SIP)」統合型ヘルスケアシステムの構築 JPJ012425の補助を受けて行った *2 Precisionでの評価。f1スコアでの評価はそれぞれ30.9%、11.2%、11.2%

*3 MATH-500 *4 o1-miniはo1-mini-2024-09-12を利用

Real×Tech LAWSON始動

最先端技術を積極的に取り入れ、好事例やノウハウを蓄積



開始1カ月で**100件超***1
すき間時間で利用できる
利便さが好評

お客さまに適した商品提案
ドリンクやスイーツなどの
閲覧時間が長い

レジの待ち時間ゼロ
平均滞在時間 **約2分***2
(平均1,000名/日が利用)

チームの生産性向上
打ち合わせに商品を配送
菓子・軽食利用多数

未来への実験場

高輪でデジタルデータ×AIによる価値を創出。モデルを全国へ展開

— デジタルデータ×AIによる新たな価値創出 —

デジタルAI

AIエージェント
(提案・説明・営業など)

フィジカルAI

ロボット・モビリティ
シミュレーションなど



KDDI SUMMIT 2025

つなぐチカラを進化させる

ともに、夢中に、未来を創ろう

2025

10.28_{TUE} - **29**_{WED}

多様なゲストを迎え、「つなぐチカラ」を活用した最新事例をご紹介します



サマリ

デジタルデータ×AIによる価値創出に向け、つなぐチカラの進化に注力

26.3期1Q 連結業績	● 連結業績は前期比減益も、期初想定通りの進捗 ● 新プランが好発進、新たな「つながる体感」価値が好評。 マルチブランド再設計も奏功し、ブランド間移行・解約率ともにトレンド改善。 モバイル(パーソナルセグメントベース)で、通期＋300億円超の増益を目指す ● 金融事業は銀証連携を強化。通信×金融の提供価値をさらに拡大 ● ビジネスセグメントはセキュリティ・IoTなどの注力領域の取組みを強化、 成長トレンドを加速
次の成長に 向けた取組み	● 日本企業・お客さまのDX浸透加速化に向け、根幹となるインフラの整備が進捗 ● 高輪でのデジタルデータ×AIの取組み、Real×Tech LAWSONが始動。 高輪モデルを全国展開

Appendix

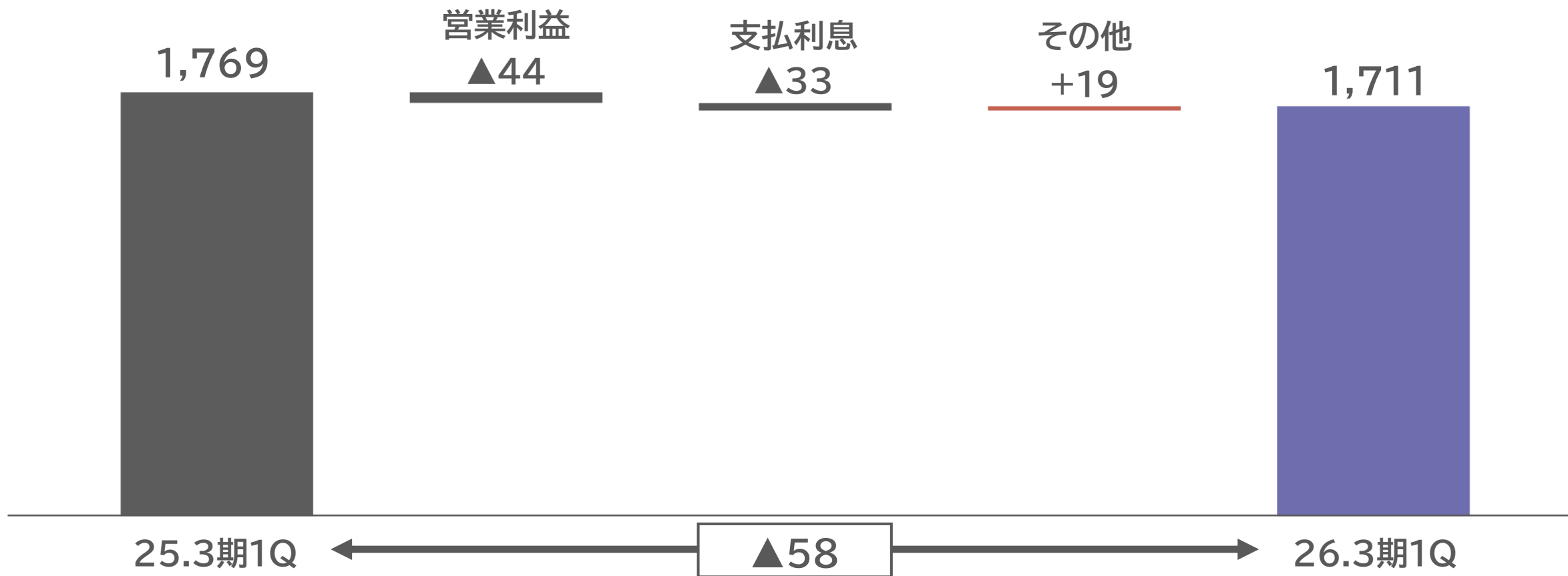
モバイルKPI

項目		新 (パーソナルセグメント+ビジネスセグメント)	旧 (パーソナルセグメント)
契約数	開示項目	主要回線数	マルチブランドID数
	対象	SP、FP、データカード、タブレット等	SP、FP
ARPU	開示項目	モバイルARPU	通信ARPU/付加価値ARPU
	計算式	$\frac{\text{(データ関連+基本料・音声関連+各種割引額+端末補償サービス等+コンテンツ等)}}{\text{主要回線稼働平残数}}$	$\frac{\begin{array}{c} \text{通信} \\ \text{(データ関連+基本料・音声関連+各種割引額)} \\ \text{付加価値} \\ \text{(金融・決済+端末補償サービス等+コンテンツ等)} \end{array}}{\text{マルチブランドID稼働平残数}}$
解約率	開示項目	主要回線解約率/スマートフォン解約率	マルチブランド解約率
	対象	主要回線解約率:SP、FP、データカード、タブレット等 スマートフォン解約率:SP	SP、FP
端末出荷台数	対象	SP、FP、データカード、タブレット等	SP、FP

注) SP:スマートフォン、FP:フィーチャーフォン

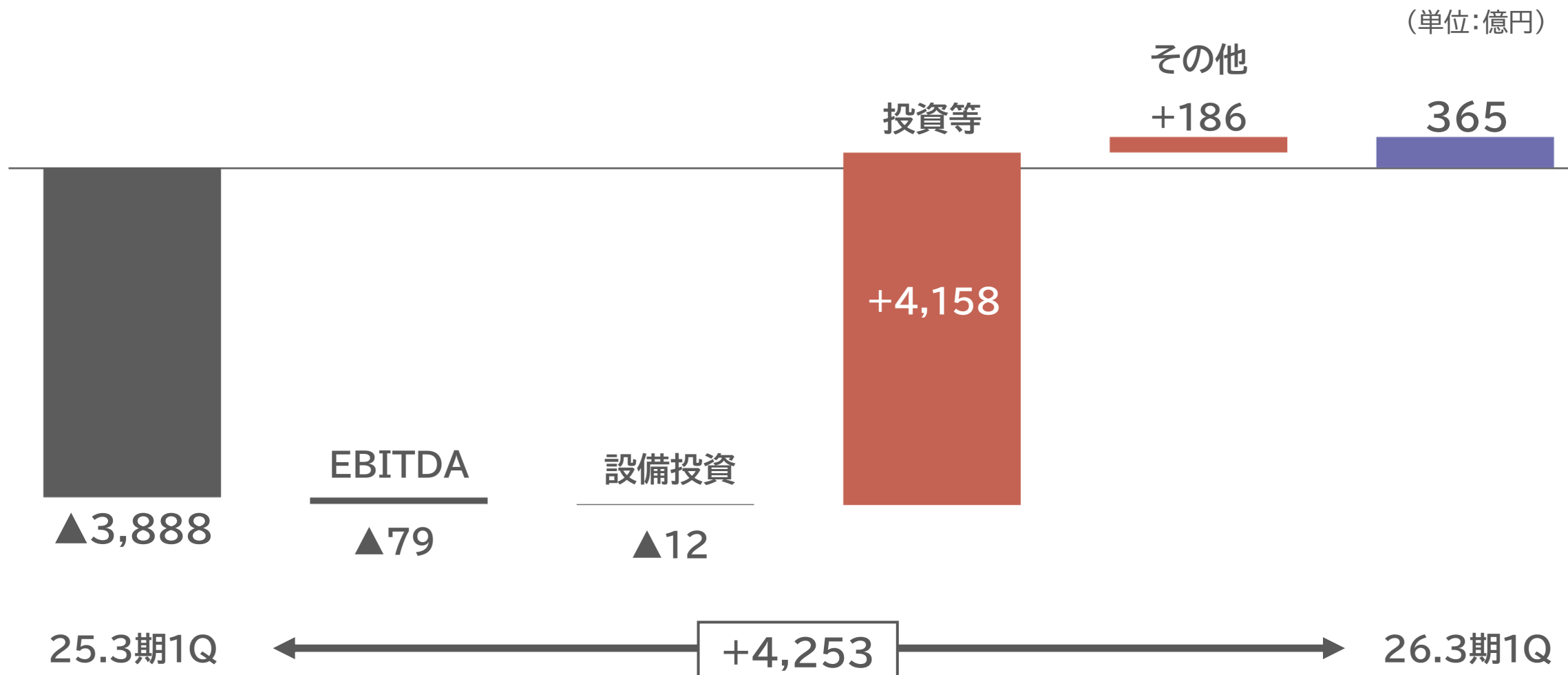
26.3期1Q 当期利益増減要因

(単位: 億円)



注) 親会社の所有者に帰属する当期利益

26.3期1Q FCF増減要因



注) フリー・キャッシュ・フローは、連結からauフィナンシャルホールディングスを差し引いて算出

財政状態計算書（2025年6月末）

（単位：十億円）

有形固定資産 無形資産 使用権資産 4,451.5	有利子負債 3,116.8
	営業債務及びその他の債務 426.5
	その他負債 648.1
のれん 565.8	資本 5,336.8
営業債権及び その他の債権 2,150.9	
現金及び現金同等物 221.5	
その他 2,138.5	

KDDI (auFH除く連結)*
総資産 9.53兆円

（単位：十億円）

現金及び現金同等物 742.0	借入金 2,012.6
有価証券 505.5	
貸出金 5,547.3	預金 4,801.3
その他 1,271.2	その他 935.4
	資本 316.7

auフィナンシャルホールディングス（連結）
総資産 8.07兆円

注）KDDI、auフィナンシャルホールディングス（auFH）ともにIFRSに準拠した決算数値 * 連結からauフィナンシャルホールディングスを差し引いて算出



免責事項

この配付資料に記載されている業績目標、契約数目標、将来の見通し、戦略、その他の歴史的事実以外の記述はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想または想定に基づく記述であり、これらは国内外の情勢、経済環境、競争状況、法令・規制・制度の制定改廃、政府機関の行為・介入、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績、契約数、戦略などは、この配付資料に記載されている予想または想定とは大きく異なる可能性があります。